

磐城時報

日刊 廿六日 昭和六年七月廿七日 編輯人 岡田弘成 印刷所 磐城印刷局 發行所 磐城印刷局 電話 一四四 廣告料 一月十四元 三月三十五元 半年六十元 一年一百一十元 零售 每份五分 印刷部 印刷 電話 一四四 印刷部 印刷 電話 一四四

全町を四區に分け 戸數割賦課額審議

本會議は七月二日頃

昭和六年度特別税戸數割賦課額を決定する平町會は昨報の如く二十五日午前十時から開き全町を四區に分け全員が委員となつて原案を審議する事となつたが、委員會は二十七日から開き七月二日頃終了の豫定である。委員の分擔左の如くである。

▲長橋町、研町、吉銀治町、新屋町、材木町、橋通小路(吉村安次郎、永山富廣、馬目雅治、吉田寅之輔、柳下元吉、石山治三郎、千葉彦治、吉田五平、緑川喜三郎)

▲新川町、月見町、堤内、立町、鎌田町、大工町(武田元之助、荒川淺次郎、佐藤若次郎、井上茂作、鈴木光吉)

▲八幡小路、久保町、北目町、胡堂澤、舊城跡、南北白銀町、仲間町、鐵道官舎、四町目(猪狩庄平、櫻井清、高橋龜松、荒川恒次郎、花澤鬼五六、青沼餘太郎、佐々木龍若)

決算期を控へた 石城地方金融界

貸付回収頗る困難

平町所在の各銀行では本年末日債安、農村不況等から今後同成の上半期決算に對し貸付金の元積は益々悪化する一方物價の低下利回收に對し不況甚大の折柄何處から抵當物權價が下落甚しいも一二ヶ月以前から各行各金融の當業者の困難は想像以上の業者が秘策を傾けて狂奔してを模索しては、右につき中村常務に仲には、貸付上の辻褄合せに支店長は語る。

「不況に伴ひ回収の困難は甚しいが各行共に事前に豫想して例年より努力してゐるので決算期迄には大した變りなく過ぎ付ける事が出来様、物價低落の影響等に就いては現在の内容の悪い向は自然淘汰し盡した後の何れもがつかう

鑛産税委讓

怪しくなる

鑛山税の地方委讓は去る五十九議會を通過したが政府では今日に至るも更に實視を明らかにせしめず或はこのまゝに放棄される運動を起すこととなつた。

委託金を横領し 運送屋訴えらる

平町田町運送業色川光治(三七)あり磐城炭坑の不況對策切掛けは昨年十二月東京市下谷區車坂農具商瑞光發送七十五社團の荷爲替を平町七町目芳賀沼渡太郎に引渡し代金を受取つたが發送者に金を渡さぬので二十三日平署に告訴された。

野球練習

縣立磐城中等學校では來月十三日から二週間縣下中等野球大會に出場準備練習として前法政大學監督赤松忠雄氏を招聘しコーチを受ける。

十六名職首

石城郡平町町會が炭礦經營盛の峠を越して聊か品薄となつた觀がある。二十五日取引左の出廻り薄くなる。四倉市坂白蘭四百六十一貫、最高三圓

十七錢、最低二圓三十二錢、平均二圓八十六錢
白蘭三百二十九貫、最高二圓八十一錢、最低二圓七十五錢、平均二圓七十七錢

藝妓屋と料理屋襲はる

今曉色街の驚き

今二十六日午前三時頃平町町刑を終え磐島刑務所を出獄後各藝妓置屋開花亭事竈ナエ方臺所地の神社佛閣の賽錢を盗み廻り忍び入り飯を食つてゐる男を平町に入り込み去る二十日夜平町町料理店尼忠に忍び込み現に忍び込み就寝中の女中某の布嚢ぎであつた。

落警で死傷

磐城郡 發見大聲を出したので件の男は郷村大字高坂磐城炭礦新斜坑便所から逃走した報告に接した平署では刑事數名を田町に配りに於いて二十三日午前十時頃大犯人逮捕に苦心した結果五時頃落警あり作業中の坑夫鈴木寅次平署前で逮捕した、取調べた處(四〇)は即死吉田正吉(四五)この男は伊達郡上保原村大字星野宮八番地生れ渡邊綱吾(二九)重傷を負ふた、目下磐城炭礦病と言ひ去る一月十七日六ヶ月の院で加療中。

失業した藤原地方 養鶏組合を組織

石城郡磐城村大字藤原地方は三立警中A、B兩コートで行はれる井炭礦が水没以來火の消えたや當日東北、奥羽の近縣からすぐうな寂れ方で居住民は生業なくつて七十餘組の出場がある筈で生活に困つてゐるので善後策を案現在の優勝旗保持チームは講じてゐたが、今回小港徳次氏平俱樂部である。

長谷川氏赴任 平第一小學校から飯野小學校長に榮轉した長谷川政氏は三十日赴任する。

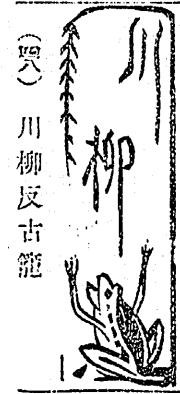
蘭市場取引

出廻り薄くなる

石城郡に於ける春蘭出廻りは最盛の峠を越して聊か品薄となつた觀がある。二十五日取引左の出廻り薄くなる。四倉市坂白蘭四百六十一貫、最高三圓

庭球大會

磐城軟球協會主催の第四回庭球大會は來月五日午前八時から縣



旗 寺井 尺一選
軍旗祭丁度國から金も来る
萬國旗目出度い時の飾りなり
俄雨白の豫報旗濡れて居る
東 天 紅
人 位
踏切番子を負つたまゝ旗を振り
旗は只くれて上手に飾を賣り
地 位
黒鷲の國に眞赤な革命旗
天 位
閣隊旗今日も上野を早く出で
軸
政應は開かず露西亞の革命旗
阿部川の盛澤山に弱らされ
バスケットあれもこれもに重
くなり
あど引きはもう澤山で腰を据
へ
初手つからもう澤山で飲んで
居る
お土産を澤山持つて嫁歸り
東 天 紅
酒文は澤山あると幹事云ひ
里の母ドツサリ背負つて會ひ
に來
天
澤山な花輪も淋し未亡人
新
劍珍坊選
日覆ひに幟の鐘顔がふけ
狂
鯉だけで間に合される二男坊
殖へて行く幟へ世帯苦を忘れ
遣へ寄つて手が届かない内幟
鯉のぼり村一番の藏も見へ
東 天 紅
秀 峰

笑ふ門には福来る

笑へ！笑へ！大いに笑へ！人生は樂し、我等の前途には赫々たる光明輝く、笑へ！笑へ！しかるに近來生活難の爲に競争激烈となり世人の面には一沫の秋雲漂ひ、其の顔貌は益々澁り行くを憂るは、洵に我等の遺憾とする所である。しかしこれ畢竟艱苦と奮闘し難關を突破して運命を開拓せんとする凛然たる勇氣に乏しく、遂て後己の半平たる決心に欠る處あるが爲では無いか。人間は事にありて、其の最悪を豫想し、これに處する最後の決心覺悟を定め置くことが必要である、さすれば假令それが實現せりとすも何等狼狽する事なく泰然自若として善處し得るからである、我等の最後の腹既に確定せりとせば粉々たる世事何を憂ふるに足らんや、我等唯人事を盡して天命を待つべきのみ、笑へ！笑へ！大いに笑へ！笑へ！忘れて憂愁の裡に貫き一生を完了するが如きは抑々愚の骨頂ではないか、白樂天の詩に

蝸牛角上爭何事
省大光中寄此身
隨富隨貧且權喜
不開口笑是痴人

笑へ！大いに笑へ！笑ひこそは人生の光明なるぞ、笑ふ門には福来る、笑ひは良き血を造り人をして肥満せしめ、敵味方の差別を撤去せしむ。笑なき人生こそは物憂き空白であり最も空費されたるは笑はざる一日なるぞ、カーチギ！言はずや「如何なる難事も笑つて處理するものに非らざれば成功せず」と笑へ！笑ひ且つ奮闘せよ、是は奮闘の油なるぞ、我等は談笑の間に大事を處決し難關を善處するの修養を積まねばならぬ。

苦き顔も永久に去れ
笑へ、大いに笑へ！
(錦峯生投)

近日公開

關東浪曲界の代表者
人氣王美調の名家たる
木村友衛師(外一門)
後平友衛會(總出演)

尙前賣券發賣致し升是非利用下さい

宣傳中半額割引

明日とゆわす今すぐ電六八〇番へ
パレット安全剃刀 定價 金一圓八十錢
自動研皮砥付 半額割引 金九十錢
一枚の刃で永久に使用出来る
バリカン、剃刀は……七橋へ
詰かえボマード、クリーム、フケ取り香水は……芳香園
白衣と鏡……大小取揃へ有る理髮器具店へ

新案特許權



500 Safe RAZOR STROPS WITHOUT PAIN
自動研皮砥付 パレット安全剃刀

醫院開業

◎午前宅診
◎午後往診

婦人科
産科
花柳病科
入院應需

井坂醫院

平町田町(舊合津醫院跡)
電話五五九番

海産加工品賣出し

▽サツマ鯨節入荷
薩摩國は二月頃から取れて居りますから仕上りはカン／＼と堅くなつて居ります。鯨節の王様は「土佐」「と」「薩摩」です。第一に風味と第二にダシ第三に徳用です。全く徳用ですからお試しに買て見て下さい。

全 桔 極上 一貫目 七圓五十錢
上々 七圓

▽フグ・白魚……味淋干
フグ百匁四十五錢 白魚百匁一圓四十錢

▽乾海苔のりは長崎のコムのり、豊間のインのりは大判で徳用一砂がなくて火を入れて御座います。本場長崎海苔ありませう。

長崎コム海苔 極上一帖二十五錢 二十錢 十八錢
豊間イン海苔 極上 二十錢 十八錢 十五錢
多少に不拘御用命下さい。

平町三丁目角
鯛でんぶ製造
海産加工品
御土産店
電話三〇三番

平看護婦會

會長 清野キヨ
平町字南町 電話三〇七番

國看護婦派出の需めに應じます

秘傳腫物湯

のんで効く
はれ物の妙薬

主一●面疔●よう●乳の腫れ●指のはれ●林巴腺の腫れ●耳鼻のおでき●骨膜炎●筋炎●はれ物手術の前夜●効一等よし

◎特にかほのおでき、乳のはれは切らずに治り醜き痕を残さず美容上最適の治療劑なり

定價 五十錢 七十錢 一圓十錢 一圓五十錢

特約店
平町四丁目 小野藥店 四ツ倉町 荒川藥店
平町三丁目 宇佐美藥店 植田町 松本藥店
湯本町 岩瀬藥店 富岡町 莊野藥店
腫物湯製劑所 茨城縣下孫 磯野健生堂

外科專門 花柳病科

平町六丁目橋際
木村外科醫院
電話三〇九番

日本百景の一名勝新舞子

料亭 初音支店
御遊覽案内

△團體宴會は特に勉強致します
△御申込みは平町電話三三六番へ

沼尻温泉 鑛泉の設備あり
△効能 胃腸、神經痛、婦人病一切
ひの症、リウマチス

外科專門 X光線科

平町南町
上田外科醫院
電話一二九番

入院應需

和洋銅鐵金物問屋

釜屋商店
諸橋久太郎
電話九九番